

商社DXを成功に導く「プラットフォーム」の構築

～GRANDITが実現する、現場と経営をつなぐ次世代ERP～



会社概要

商号	インフォコム株式会社	設立	1983年2月
代表者	代表取締役社長 CEO 黒田 淳	資本金	1億円
所在地	東京都港区赤坂9丁目7番2号 ミッドタウン・イースト 10階		

ERP事業

- 次世代ERP事業をコンソーシアム方式にて発足
- 本事業の推進母体として、インフォバック株式会社（旧社名）を2003年10月1日に設立
- 2012年10月1日、製品ブランドを統一し、事業の更なる成長のため、GRANDIT株式会社へ変更
- 2025年4月1日、インフォコム株式会社に吸収合併

サービスについて

日本の中堅企業市場に最も適合した完全WEBベースの統合業務パッケージソフト「GRANDIT」を、他社に先駆けて2004年12月に全モジュールを市場投入。変化するビジネス環境に柔軟に対応する進化系プラットフォームとして、GRANDIT V4を2025年6月にリリース

国内のパートナーは**70**社以上、**1,500**社を超える企業への導入実績を保有



製品名「GRANDIT」

GRAND(偉大な)とITを組み合わせた造語。
仏語では「成長させる、大きくする」という意味をもつ

コンソーシアム企業の叡智から生まれた“進化系”ERP

- 各業種を代表するユーザ系システム企業を中核に編成したコンソーシアム
- 各社に蓄積されている業務ノウハウを集大成し、顧客視点の製品を協同開発
- 製品完成後も、機能強化と普及を協同で継続的に行う。

GRANDIT コンソーシアムのご紹介

ユーザ系情報会社を中核に**11**社が集結 コンソーシアム形式で事業を推進

プライムパートナー	系列
NECネクサソリューションズ(株)	日本電気(株)系
NTTドコモソリューションズ(株)	日本電信電話(株)系
(株)オーガス総研	大阪ガス(株)系
(株)システムインテグレータ	独立系
(株)シナプスイノベーション	独立系
双日テックイノベーション(株)	双日(株)系
(株)DACS	(株)エヌ・ティ・ティ・データ系
日鉄日立システムソリューションズ(株)	日鉄ソリューションズ(株)系
パナソニック インフォメーションシステムズ(株)	パナソニック(株)系
ベニックソリューション(株)	川崎重工業(株)系
(株)ミロク情報サービス	独立系

ノウハウ集約型 コンソーシアム方式

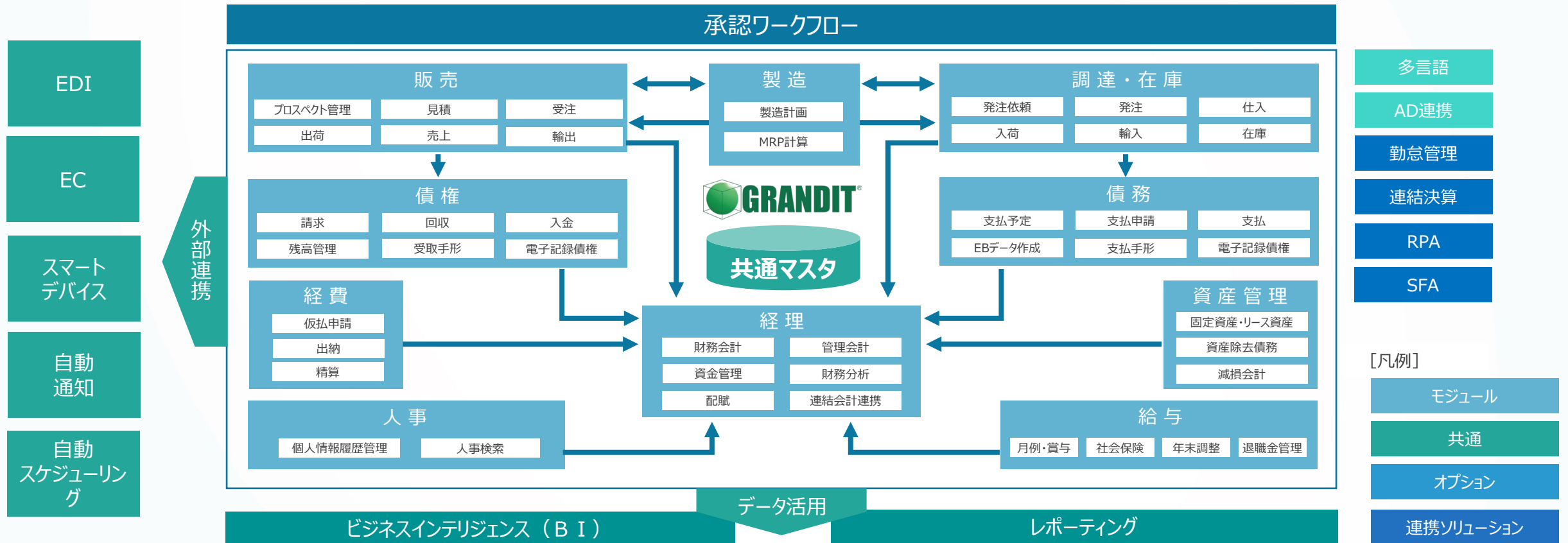
- 業種・業界固有の要件は、同分野に強みを持つパートナーより提供されるアドオン・テンプレートが適用可能
- 導入期間の短縮と追加開発のリスクを軽減し、TCOの削減に効果を発揮します。

コンソーシアム・ノウハウ集約



基幹業務を網羅した11モジュールで構成し、モジュール間の【完全密結合】と【完全連携】を実現しています。

- 共通、経理、債権、債務、経費、資産管理、販売、製造、調達在庫、人事、給与の11モジュールで基幹業務をカバー
- 従来は外付け機能であったワークフロー等を内部連携機能として、業務モジュールに同一設計思想の統合ワークフロー、ビジネスインテリジェンス、自動通知、スマートデバイス、EC機能などを統合
- 11モジュールより個社単位に選択して導入することが可能。勤怠管理、連結決算等 11モジュール以外の機能は、GRANDITと密連携するアライアンス製品より選択



商社を取り巻く環境と「情報武装」

環境変化に俊敏に対応するための「情報武装」とは・・・

社会や経済などの急速な環境変化に対応するには「情報武装」が不可欠です。
 例えばサプライチェーン再設計には、市場や需給を定量評価し、短期間で仮説検証が必要ですが、
 業務の不明確さやデータ分散が課題となります。

サプライチェーン見直し手順



ITにより連携されたサプライチェーン管理と一元化された情報に基づいた継続的な監視、分析

急速な環境変化に俊敏に対応するための「情報武装」とは？

環境変化に俊敏に対応するための「情報武装」とは・・・

- 環境変化への即応**： サプライチェーンの再設計やリスク評価には、迅速な仮説検証が必要
- 現状の課題**： 業務の不明確さ、データの分散、システムのブラックボックス化
- あるべき姿**： 「記録するシステム」から、変化に即応する「**意思決定プラットフォーム**」へ

環境変化に俊敏に対応するために必要な情報武装の構成要素

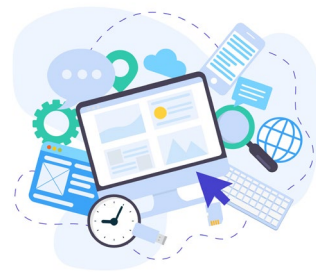
Point 01

様々な
システムの
データ収集、
統合



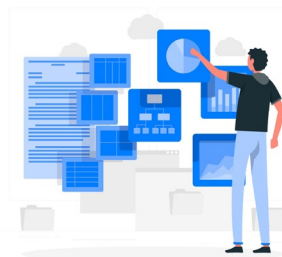
Point 02

コアとなる
統合ERP
システムの
導入



Point 03

予測分析や
シミュレー
ション機能



Point 04

最新のサービスを
柔軟に取り込む
ための迅速な
意思決定を支える
ツール

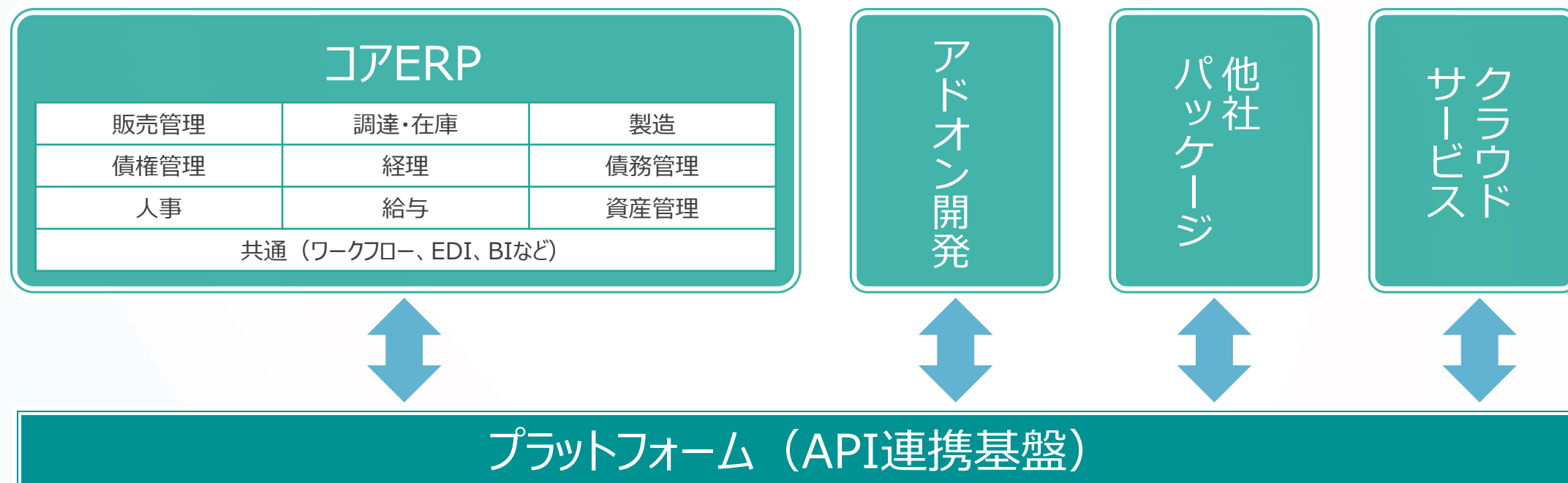


次の手を打つための**意思決定**を導くための「**プラットフォーム**」へ

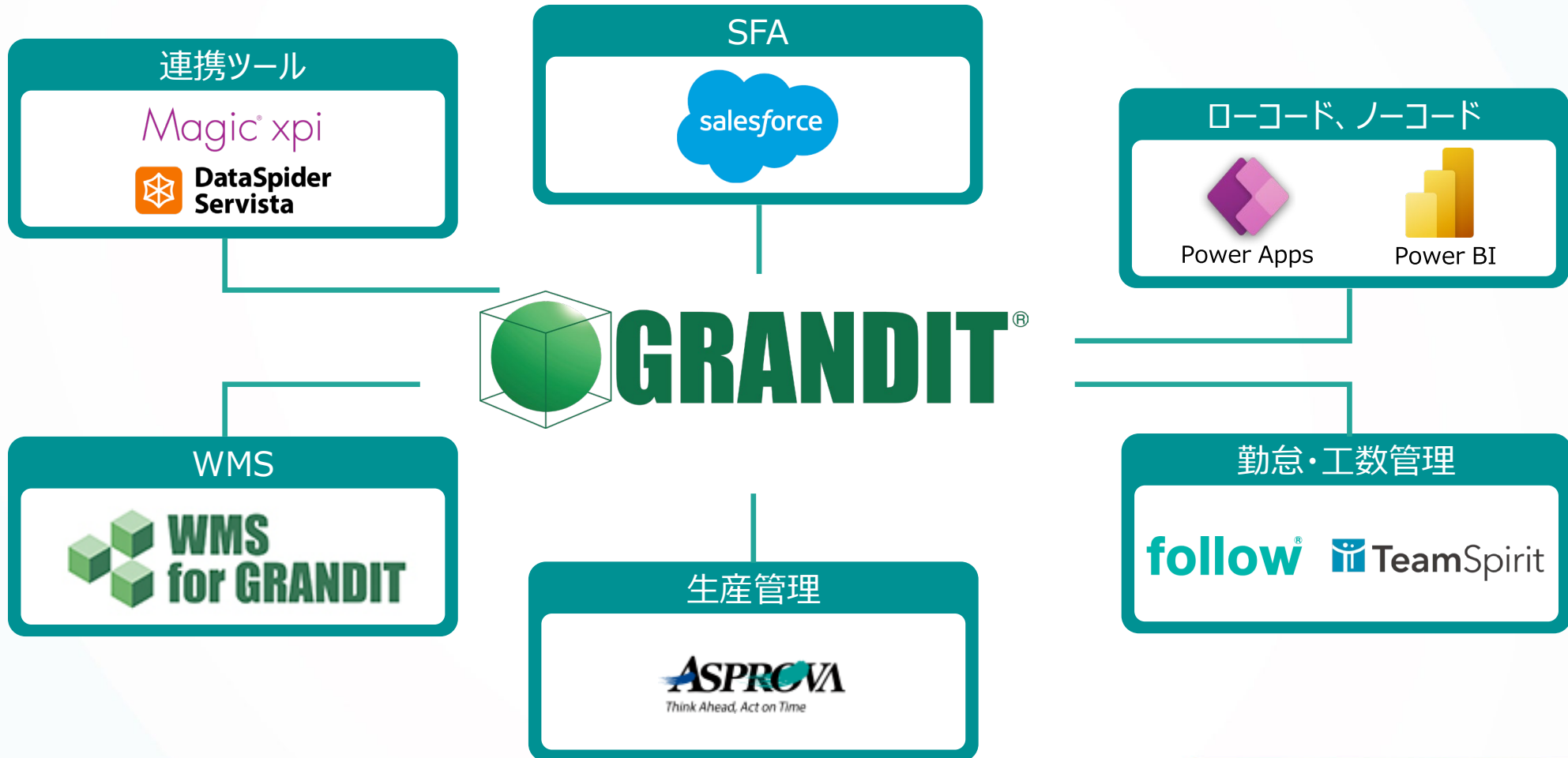
変化に強いERP「GRANDIT V4」が目指す「コンポーザブルERP」とは

- **コンポーザブル（構成可能）** : 必要な機能をブロックのように自由に組み合わせる
- **コアERP × アドオン/他社サービス** : 強固な標準機能を核に、周辺システムと柔軟に連携
- **メリット** : 商社特有の複雑な要件にも、システムを巨大化・硬直化させずに対応可能

コンポーザブルERP概念図

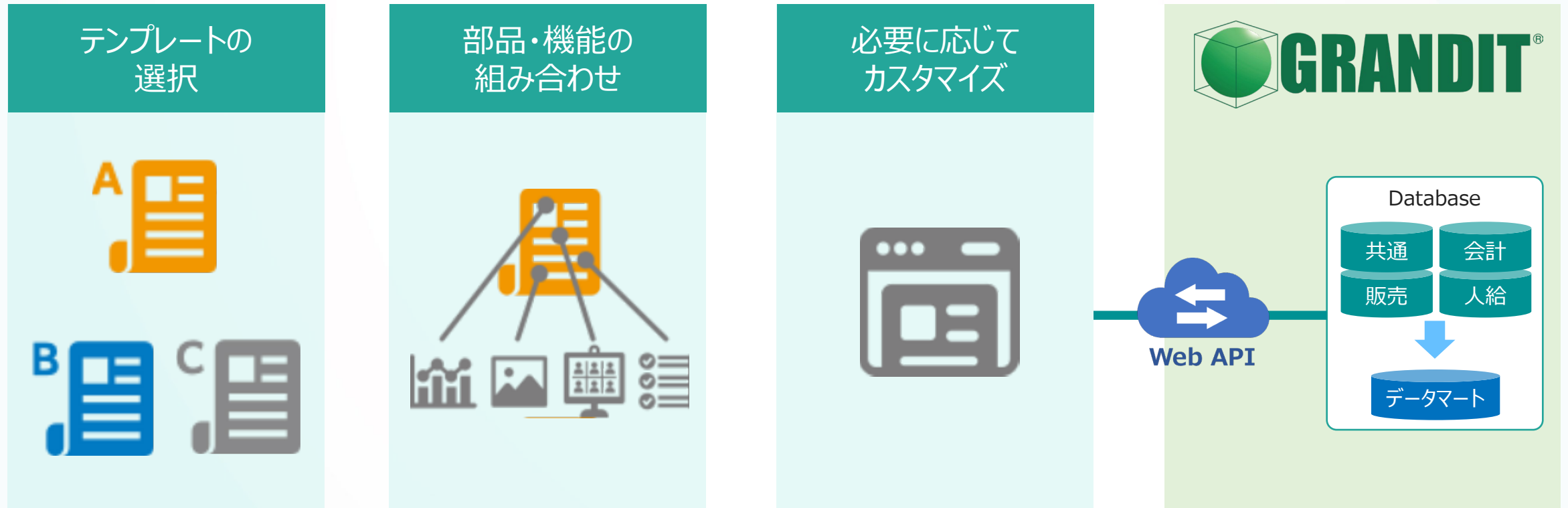


- WebAPIの大幅拡充： 周辺システムとのリアルタイム連携を実現
- 【Point】専門領域との融合： 貿易管理、倉庫管理(WMS)などと「密」につながる
- データ統合： 個別最適にならず、一つのプラットフォームとして機能



- **Power Platform連携**： Microsoft Power Apps等を標準サポート
- **現場の自走**： 現場独自の入力画面や簡易アプリを、本体改修なしで作成可能
- **ガバナンスの両立**： ERPの正しいマスタデータを参照するため、データの不整合を防ぐ

ローコードツールとERPの連動イメージ



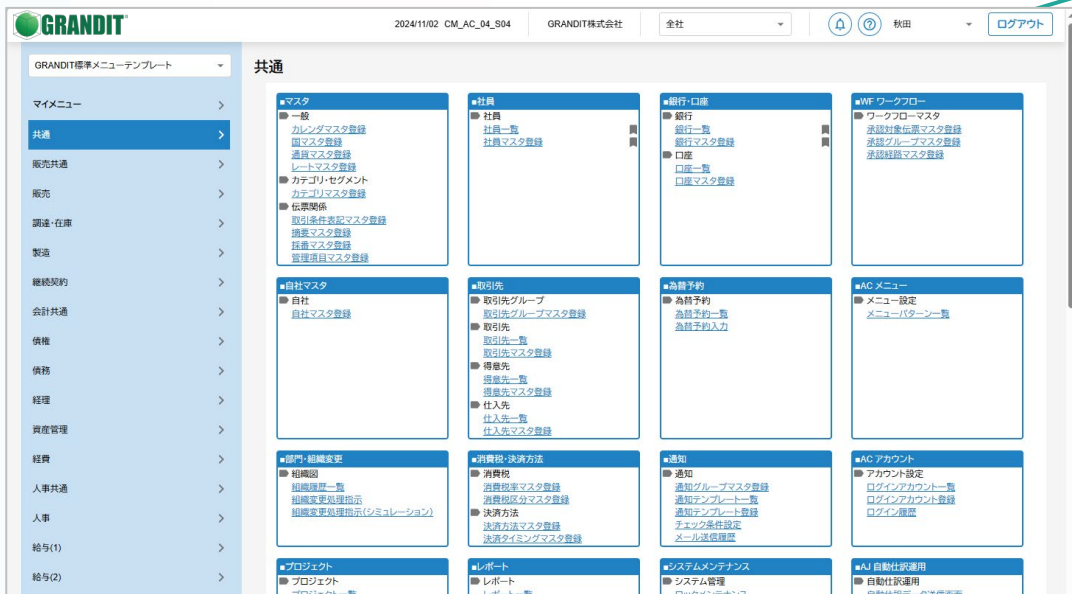
UI刷新の特徴 —メニュー表示形式—

- **リスト表示メニュー**：タブ形式を廃止し、必要な画面へのアクセス時間を短縮
- **視認性の向上**：直感的なデザインにより、入力ミスを削減

「使いやすさ」は
データの精度に直結する

Point

ユーザ情報は最上部に



Point

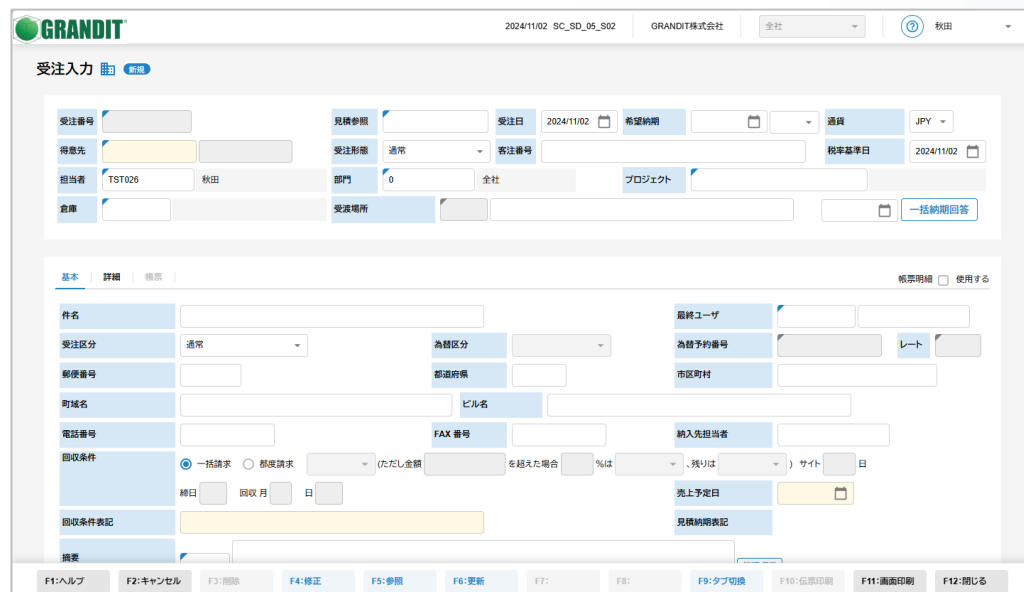
上部に並んで
見づらかったタブをリスト化

Point

罫線での表現を
余白でスッキリ

Point

一般的なファンクションキーの位置に変更

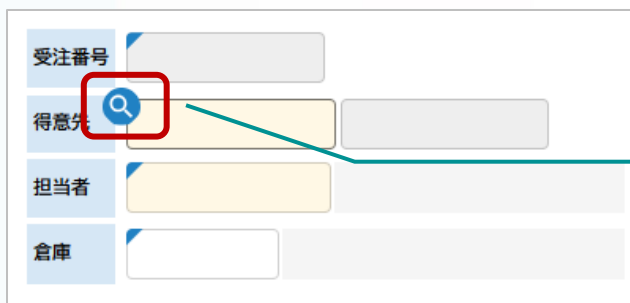


UI刷新の特徴 — 視認性の向上 —

- **複数画面の同時起動**：マスタ照会と伝票入力を並行処理（P.17下部の図を強調）
- **キーボード操作の最適化**：マウスに持ち替えず、高速に入力可能

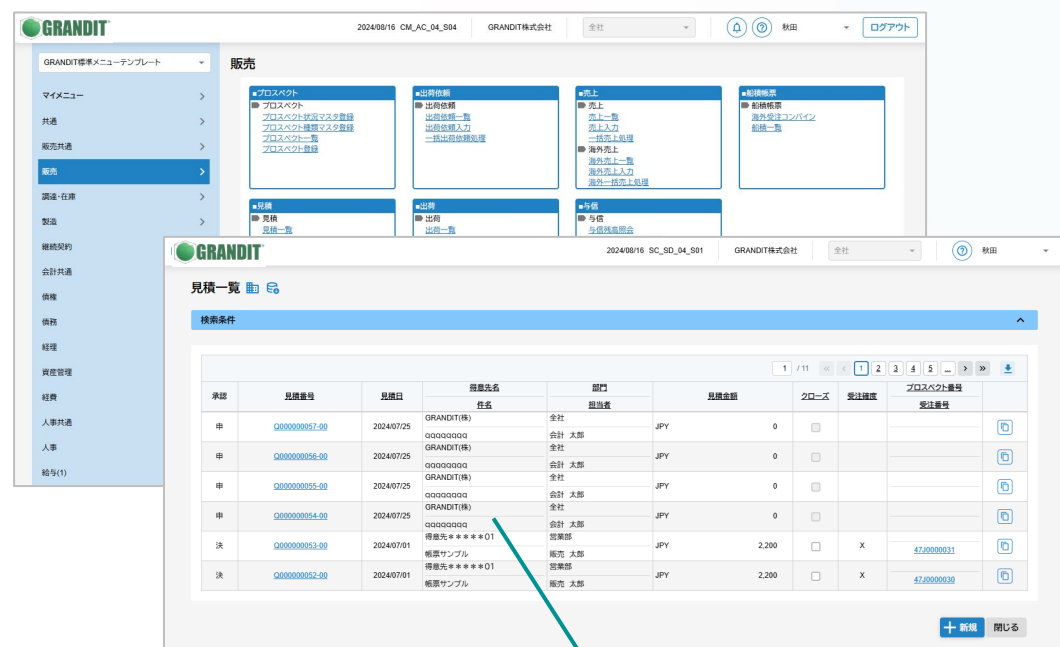
ストレスのない操作環境が
生産性の向上をもたらす

Point 検索ウィンドウボタンの配置



マウスでも
検索ウィンドウを
呼び出し可能に

Point 複数画面の同時表示



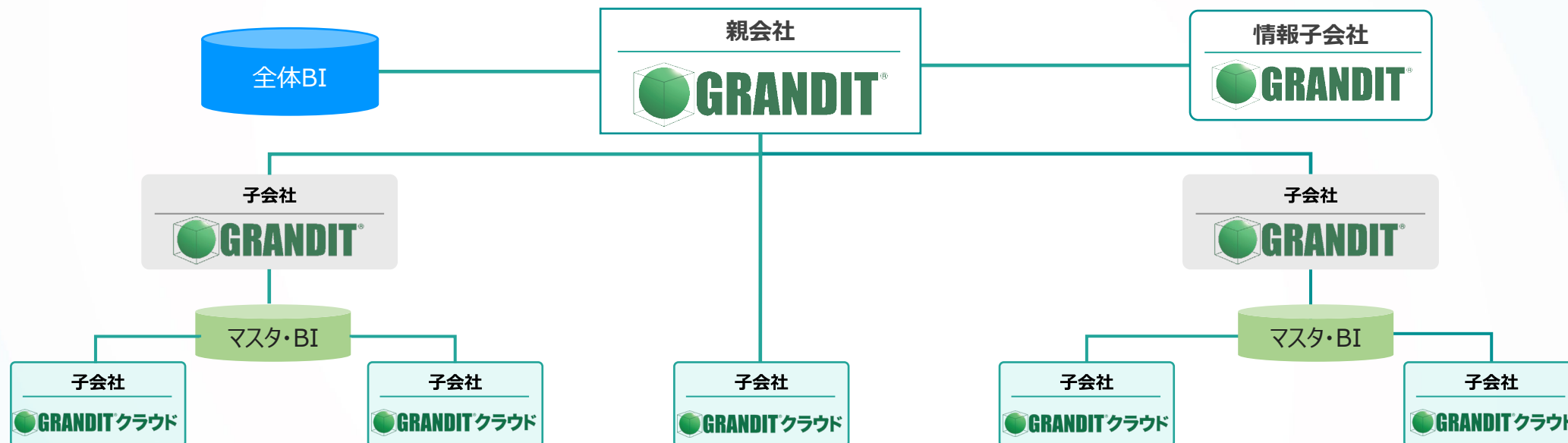
Point 検索条件の折り畳み



検索条件の折り畳みを
可能にすることで、一覧
性を向上

メニュー画面から
複数画面の起動を
可能に

- **ハイブリッド構成**： 親会社（GRANDIT） × 子会社（GRANDIT クラウド）
- **データの一元化**： グループ全体の商流・物流・金流データを同一構造で統合
- **【Bridge】経営管理へ**： 蓄積されたデータを、財務管理サービス（ConSeek TM）へ連携し、意思決定に活用



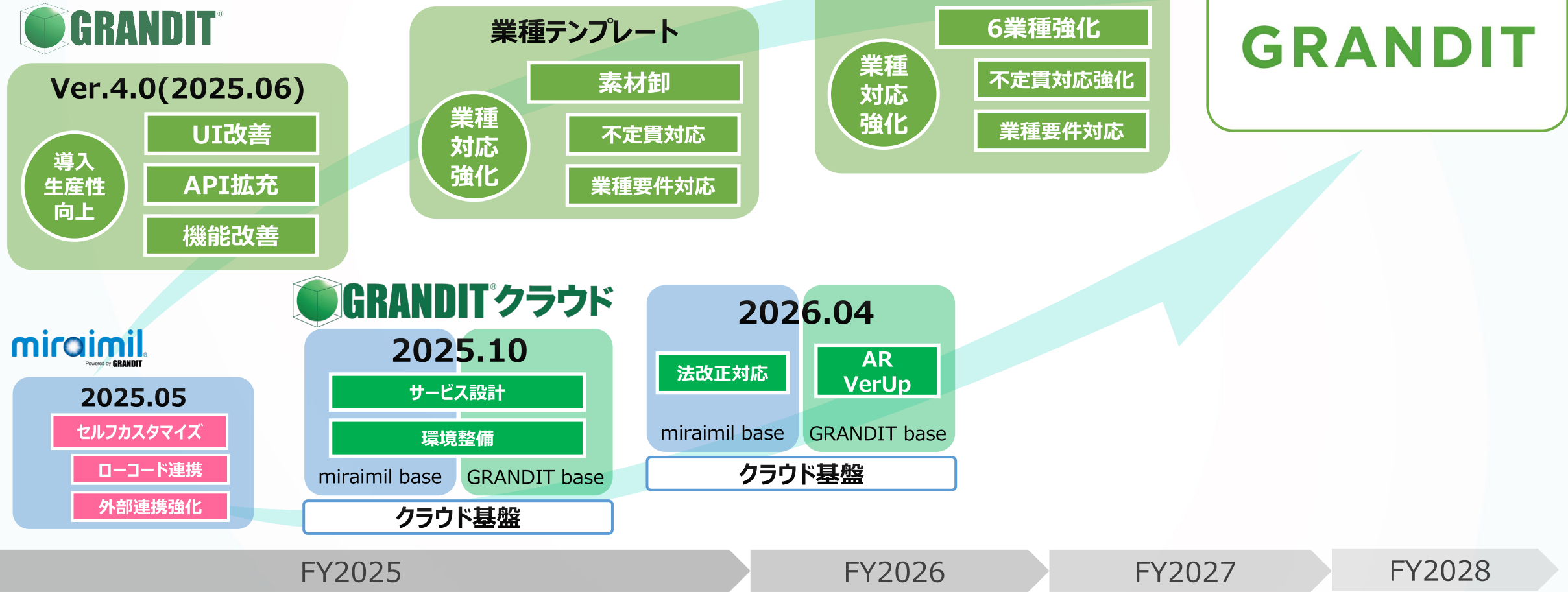
内部統制統一

会計基準統一

業務機能統一

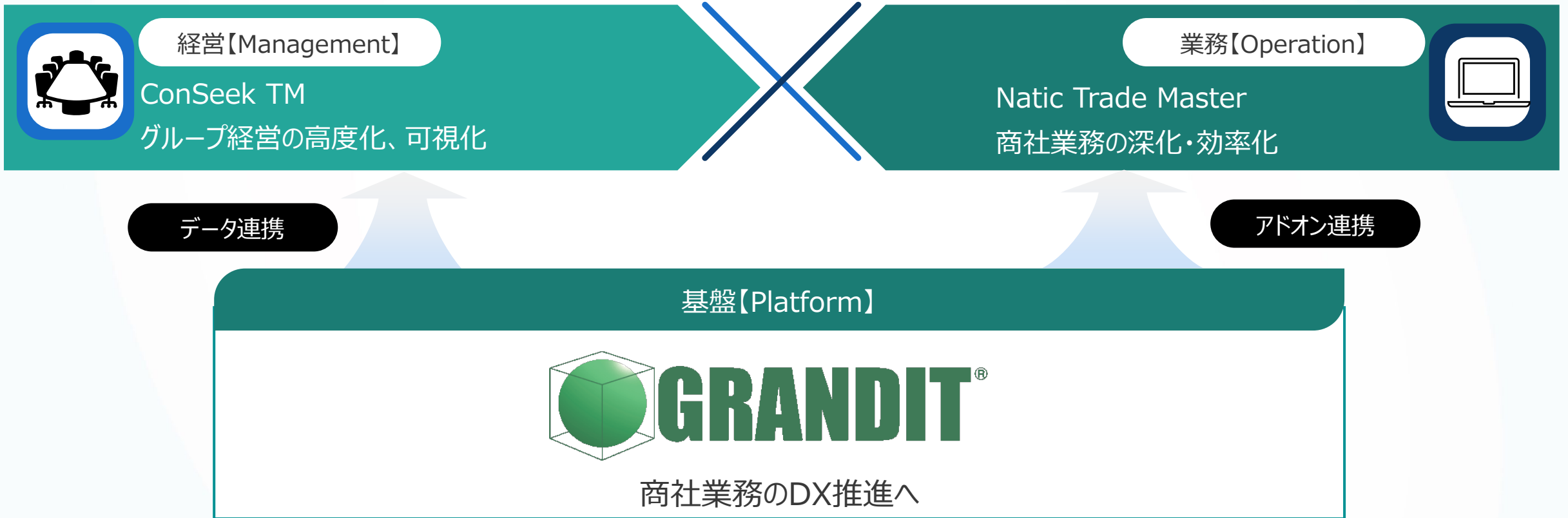
同一データ構造と操作性を持つ、GRANDITをグループ統合環境を構築。カスタマイズが必要な企業はGRANDIT子会社はGRANDITクラウドを適材適所で選択し、データを正確かつスピーディに統合

- **商社機能の強化**：不定貫対応、業種テンプレートの拡充（2025年～）
- **進化系ERP**：法改正対応や新技術への適応を継続
- **パートナーシップ**：貴社の成長を長期にわたり支える基盤



本日のまとめ- DXを実現する3社の連携

商社DXの成功には、役割の異なる3つの要素の連携が不可欠



CONFIDENTIAL

- 本文書は、インフォコム株式会社が著作権その他の権利を有する営業秘密（含むサプライヤー等第三者が権利を有するもの）です。
- 本文書のいかなる部分も、弊社の明示の許可なく、いかなる形態または目的かを問わず、複製または送信することはできません。
- ここに含まれる情報は予告なしに変更されることがあります。
- 本文書に記載された他社製品名は他社登録商標されています。

お問い合わせ先

インフォコム株式会社 GRANDIT事業部門

GRANDITセールス担当 grandit-sl@grandit.jp